

地域包括ケア病床のご案内

県立一志病院では、2023年10月より2階病棟に16床の地域包括ケア病床の運用を開始しました。

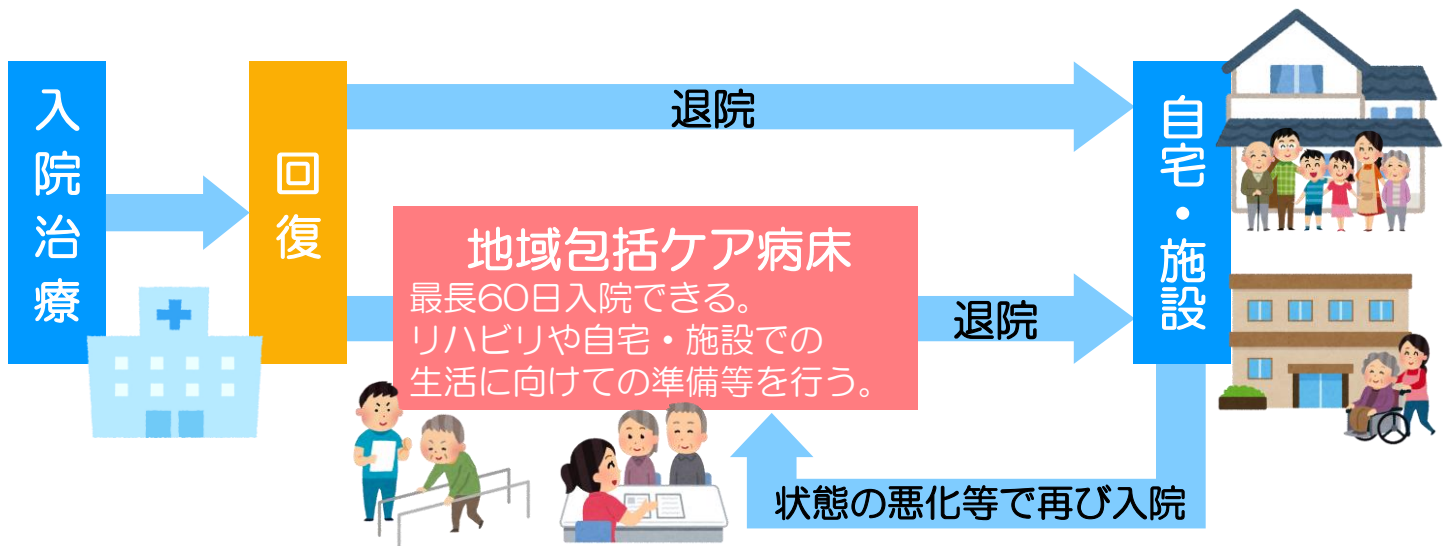
地域包括ケア病床とは

「地域包括ケア病床」とは、入院治療後、病状が安定した患者さんに対して、在宅や介護施設で安心して生活できるようにするための退院支援やリハビリを中心に行う「**在宅復帰を支援するための病床**」です。

具体的には・・・

- ①病状は安定したが退院に向けてもう少し経過観察が必要な方
- ②在宅復帰へ向けて、在宅療養するためのリハビリや準備が必要な方
- ③在宅療養していたが、状態が一時的に悪化し入院治療が必要になった方など

※当該病床の入院期間は最長で60日です。



地域包括ケア病床への入床について

「地域包括ケア病床」への入床につきましては、患者さんの状態を判断し、患者さんまたはご家族にご提案させていただきます。ご了解いただいた患者さんは地域包括ケア病床へ入床となります。

地域包括ケア病床へ入床すると

在宅復帰をスムーズに行うために、「在宅復帰支援計画」に基づいて、主治医、看護師、リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者（医療ソーシャルワーカー）等、関係職種が協力して、効率的かつ積極的に患者さんの在宅支援（相談・準備等）を行っていきます。

☆「地域包括ケア病床」についてのご相談・お問い合わせは

一志病院地域連携室（059-262-0600(代)） までお問い合わせください。